

令和元年度事業計画

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

<はじめに>

令和元年度の日本経済は米国と中国の経済摩擦の影響を受けるが、改元を迎え、TPPの開始、消費税が8%から10%となり、ラグビーワールドカップ開催や東京オリンピックの準備本格化など、変化の年となります。この中で、安倍総理は年頭記者会見にて、少子高齢化は進むが、幼児教育の無償化等による次世代への投資と、高齢者の生涯現役を目指すさらなる働き方改革を進めると述べられています。

また、兵庫県知事は新春メッセージで、変化の年を捉え、世界の成長を呼び込み、人口減少、少子高齢化が進む中でも、将来にわたり活力に満ちた地域とするため、安心して暮らせる基盤をつくり、未来へ続く地域活力を創出すると述べられています。

この事を受けて、令和元年度シルバー人材センター関係の国の予算については、運営費補助が微減、高齢者活用・現役世代雇用（サポート事業）が19%増となる見込みです。

又、篠山市の補助金は昨年同等となります。従って、令和元度も当センターは、篠山市の補助金及び国の運営補助及び高齢者活用・現役世代雇用（サポート事業）を更に活用して事業展開を図ります。

当センターは令和元年度の最重要課題として、会員確保、就業の確保、生活支援等女性会員の拡大、職群班の増強を図り、シルバー人材センター会員の活動が、基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、地域の発展に一層寄与できるよう取り組みます。同時に、会員の安全就業の徹底と適正な受託と就業へ取り組みます。その為に、会費や保険金負担制度改定と、職群班班長制度を継続してまいります。又、昨年度と同等の講習会や研修会を開催致します。

1, 事業内容

平成30年度と同等規模にて実施

2, 令和元年度制度運用項目

<会員>

- ・会費の減額継続・2400円/年間を継続する。
- ・保険料負担ゼロと事故負担金最大5000円の継続
- ・職群班班長手当の継続。

<理事会・職員>

- ・他シルバーへ訪問・見学の実施

<事務局>

- ・事務局職員体制の運用改善（受注、指示、請求、集金業務）を進める
- ・事務局職員の待遇改善

3、重点活動

(1) 新規入会会員の拡大

- 毎月20日を基準とした入会説明会開催を実施する
- 臨時もしくは追加入会説明会を実施し、入会機会を増やす
- 会員による勧誘を活発化する
- 新聞や市報等により、活動を市民へ積極的に伝える

(2) 就業先提供と就業会員確保

- 新規就業機会の確保
 - ・会員による情報提供を実施する
 - ・チラシ新聞折り込みにより案内する
- 就業情報の提供
 - ・就業意向調査結果や過去の就業状況を活用し、就業情報を広く提供する
 - ・事務局便りと電話等に加え新しい提供方法により会員への積極的案内を進める
 - ・職群班班長へ詳しい情報を提供する
- 受注能力の向上
 - ・予約制度と新規受注を両立させて、剪定班活動を活発にする

(3) 生活支援事業の推進

- 家事支援会員の増強と就業開拓を進める
- 家事支援講習会を開催する

(4) 会員の安全の徹底

- 就業事故ゼロに向けた取り組み
 - ・安全委員会活動を活発化する
 - ・就業時における基本的安全対策を徹底（安全・適正就業基準）する
 - ・受注経歴がある依頼先も、本年先受注前に現場再調査を実施する
 - ・安全、適正就業推進月間（7月・11月）を実施する
- 交通安全の徹底
 - ・運転免許や自動車等任意保険加入情報を管理し、安心な運転を推進する
 - ・交通安全教室を実施する
- 健康管理と健康診断の推進
 - ・食中毒、熱中症、インフルエンザへの対策注意喚起をおこなう

(5) 適正な受託と就業の為の取り組み

- ・長年就業是正を進める
- ・就業状況調査を継続し、適正な契約形態としてゆく。

4. 講習会・研修会実施について

- 雑木・垣根などの剪定講習会
- 会員研修会
- 交通安全講習会
- 家事支援講習会
- 松の剪定講習会
- しめ縄づくり講習会
- 果樹剪定（栗）講習会
- 障子・網戸張替え講習会

5. 会員の交流と健康増進のための事業について

- 同好会活動の活発化
- グランドゴルフ交流会の実施
- より多くの会員が参加する会員親睦旅行を企画する。
- 会員主体の催し参加を企画する。

6. 社会貢献活動について

- 今田支所周辺雑木剪定作業
- 篠山城跡周辺草刈・草引き奉仕作業
- 城跡周辺松の剪定作業

特に、篠山城跡周辺草刈・草引き奉仕作業へより多くの会員参加を求める。